

第54回 ふじみ衛生組合地元協議会 会議録

- 1 開催日時 平成30年5月7日(月)18時30分から19時30分まで
- 2 開催場所 クリーンプラザふじみ3階研修ホール
- 3 委員出欠 出席 21人(欠席者7人)
出席委員 佐々木善信(会長)、浅野秀美、宍戸良雄、島田猛、武谷宏二、田中一枝、戸田朝子、長瀬輝夫、牧野隆男、増田雅則、矢田部正文、山添登、山田攻、山田知英美
荻原正樹(副会長)、上野洋樹、岡田賢一郎、宮崎治、星野巖雄
大野憲一、岩本宏樹
(名前の表示は、正副会長を除き選出区分別50音順)
- 4 出席者 管理者 清原慶子
内田治(参与:三鷹市副市長)、伊藤栄敏(参与:調布市副市長)
事務局 今村好一、岩崎誠、大堀和彦、篁健二
エコサービスふじみ株式会社 久保寺高広
パシフィックコンサルタンツ株式会社 吉留雅俊
- 5 傍聴者 1人
- 6 次第
 - 1 開会
 - 2 報告事項
 - (1) 第53回ふじみ衛生組合地元協議会会議録(要旨)
 - (2) ふじみ衛生組合地元協議会委員の交代について
 - (3) 平成29年度ごみ処理実績について
 - (4) 平成29年度環境測定結果について
 - (5) クリーンプラザふじみ1号炉の稼働停止について
 - (6) 「処理施設緊急時及び要望等対応マニュアル」に基づく公表について
 - (7) 第18回安全衛生専門委員会について
 - (8) 平成30年度環境測定スケジュールについて
 - (9) 平成30年度ごみ処理計画(三鷹市・調布市・ふじみ衛生組合)について
 - (10) 環境影響評価事後調査の概要
 - (11) 平成30年度ごみ処理相互支援について
 - (12) 平成30年度ふじみ衛生組合地元協議会年間スケジュールについて
 - 3 協議事項
 - (1) 施設見学について
 - 4 その他
 - (1) 次回日程
 - (2) その他
 - 5 閉会

【資料1】第53回ふじみ衛生組合地元協議会議事録(要旨)

【資料2】ふじみ衛生組合地元協議会委員名簿

【資料3】平成29年度ごみ処理実績

【資料4】平成29年度環境測定結果

【資料5】クリーンプラザふじみ1号炉の稼働停止について

【資料6】「処理施設緊急時及び要望等対応マニュアル」に基づく公表について

【資料7】平成30年度環境測定スケジュール

【資料8】平成30年度ごみ処理計画(三鷹市・調布市・ふじみ衛生組合)

【資料9】環境影響事後調査の概要

【資料10】平成30年度ごみ処理相互支援について

【資料11】平成30年度ふじみ衛生組合地元協議会年間スケジュール

【資料12】平成30年度地元協議会視察地及び行程(当日配布)

【資料13】第53回地元協議会傍聴者意見

【事務局】

皆様にはお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。本日は、小金井市の西岡市長が地元協議会の皆様にご挨拶にお見えになっています。第54回地元協議会の開会に先立ちまして、西岡市長にご挨拶をいただきたいと存じます。それでは、西岡市長、お願いいたします。

【西岡小金井市長】

皆様、こんばんは。大変お世話になっております。小金井市の市長を務めさせていただいております西岡真一郎と申します。本日は、ふじみ衛生組合地元協議会に出席をさせていただく機会を賜りましたこと、心から御礼と感謝を申し上げます。皆様、ありがとうございます。そして、今日は小金井市の柿崎環境部長と子ども出席をさせていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

また、本日はこれまでの小金井市への長年のご支援に御礼と感謝を申し上げるべく、また今後のご支援に対しましてご理解をいただきたく、このような機会をつくっていただきました。まず、清原市長におかれましては、さまざまな面でご配慮いただいておりますことに改めて御礼と感謝を申し上げます。ありがとうございます。

小金井市は長い間、調布市様、府中市様、小金井市の3市で、二枚橋衛生組合におきまして可燃ごみの処理を行ってまいりました。しかしながら、老朽化した施設を更新するという状況には至らず、平成19年3月末日をもちまして全焼却炉を停止いたしました。あれから約10年間にわたりまして、小金井市は長い間、多摩地域各団体の皆様方に小金井市民の可燃ごみの全量のご支援をいただいております。その過程の中では、三鷹市様には平成21年、23年、24年の3か年にわたりましてご支援を賜りました。改めて御礼と感謝を申し上げます。ありがとうございます。

そして、ふじみ衛生組合様からのご支援につきましては、平成29年度からご支援をいただいております。今年度、平成30年度で2年目を迎えさせていただきました。平成30年度の計画処理量といたしましては、小金井市の全量の予定計画量1万3,100トンのうち、3,500トンのご支援をいただけることとなっております。小金井市民を代表いたしまして、ふじみ衛生組合地元協議会の皆様方に改めて御礼と感謝を申し上げます。ありがとうございます。

また、今日、少し早めにまいりまして、ふじみ衛生組合様のクリーンプラザふじみ、何回目かになりますけれども、この3階に上がってまいりましたら、環境教育の一環だと思っておりますけれども、廊下にこの施設を見学した三鷹市の小学生の方々、調布市の小学生の皆さんからのお手紙が掲示されておまして、読ませていただきました。生きた環境教育を、本当に有意義な取り組みをなさっているんだなということに大変感銘をいたしました。この施設に来てごみの減量の重要性

を学んだ、リサイクルの大切さを学んだ、そういった取り組みを見せていただきまして、大変感銘を受けた次第でございます。

その後、さまざまな経過がございまして、平成27年7月に小金井市は日野市様、国分寺市様、小金井市と3市で一部事務組合である浅川清流環境組合を設立させていただきました。そして、平成28年12月に、私は小金井市の市長に就任させていただきました。昨年、平成29年11月から日野市域内にあります、現在、日野市が稼働しているクリーンセンターの隣地におきまして、新しい一部事務組合の焼却施設の建築工事がスタートいたしました。現在、順調にその工事を進めているところでございます。今後の予定といたしましては、浅川清流環境組合、日野市、国分寺市、小金井市が共同で設立いたします新しい可燃ごみ処理施設は、2020年4月から本格稼働する予定でございます。

なお、2020年当初前後には試験運転を開始するということも念頭に入れつつ、今後、小金井市といたしましても構成市の責任を果たしながら、円滑な稼働に向けまして、全力でその責務を全うしてまいりたいと考えております。

その2020年4月に本格稼働するまでの間も、引き続き小金井市といたしましては、この10年間にわたって市民の皆様方、事業者の皆様方に多大なご理解とご協力をいただき進めてまいりましたごみの減量につきましても、皆様方のご負担を少しでも軽減しなければいけませんので、ごみの減量については最重要課題の一つと位置づけて、引き続き全力で取り組んでまいります。

また、清原市長とさまざまな面で意見交換させていただいている中で、じんかい車の安全運転も大変重要な視点ですというご指摘もいただいておりますので、私どもといたしましてはふじみ衛生組合様以外にも、平成30年度は多摩川衛生組合様、そして国分寺市さん、3団体の方々にご支援をいただいておりますが、じんかい車の安全運転に関しましては重要事項と位置づけまして、担当からそれぞれの事業者に関しましては重要事項と位置づけまして、担当からそれぞれの事業者に関しましては安全運転に心がけるよう、市長からの安全運転の要請をさせていただいているところでございまして、この点につきましても引き続き全力を挙げて取り組んでまいる決意でございます。

今後とも私ども小金井市といたしましては、こういった責任をしっかりと全うしてまいる所存でございますが、浅川清流環境組合が本格稼働するまでの間、平成30年度、31年度、残り約2か年、試験運転の関係で2か年が若干短くなるかもしれないけれども、引き続き小金井市の可燃ごみへのご理解を賜りますよう、心からお願いを申し上げます。

あわせまして、清原市長をはじめといたします三鷹市行政当局の皆様、そして長友市長をはじめといたします調布市行政当局の皆様方のご指導、ご理解、ご支援には、改めて心から御礼と感謝を申し上げます。

今日はこのような発言の機会を賜りましたことに、御礼と感謝申し上げます。ふじみ衛生組合地元協議会の皆様方のご尽力に改めて心から御礼と感謝申し上げますとともに、引き続き地元協議会がご発展されますよう、そして地元協議会の構成員の皆様方のご健勝をご祈念申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。

今後とも小金井市は浅川清流環境組合の本格稼働に向けて、ごみの減量に一生懸命取り組んでまいりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。

(拍手)

【事務局】

ありがとうございます。

それでは、ふじみ衛生組合地元協議会を代表いたしまして、地元協議会会長からご挨拶をさせていただきます。

会長、お願いします。

【会長】

地元協議会の会長でございます。一言ということでございますので、不慣れですが、ちょっとお話をさせていただきたいと思えます。

ごみ問題については、どの地域でも重要な行政課題と言えるんじゃないかと思えます。我々の地域においても長い間、住民と行政が話を続けてきました。そして、苦勞の末、環境協定書を締結して、現在の運営に至っているということでございます。いわゆる迷惑施設である焼却場は、反面、住民にとって必要な施設でもあります。この維持には、地域住民と行政の率直な協議が何にも増して大切であると私自身は思っております。当時、地元協議会はそれを目指して、定期的な協議を通して、施設の環境監視と安全・安心な運用となるよう努めているところでございます。

そして、三鷹・調布、両市民とともに交流を深めながら、ごみの啓発も大事と思え、年1回、当施設を会場にふじみまつりを開催しております。小金井市の西岡市長にお忙しい中、ふじみ衛生組合地元協議会にお越しいたさき、直接のご説明に対し御礼申し上げます。ありがとうございました。

(拍手)

【事務局】

ありがとうございました。

続きまして、ふじみ衛生組合、清原管理者からご挨拶をさせていただきます。

それでは、清原管理者、お願いいたします。

【清原管理者】

皆様、こんばんは。本日は本当に吹き降りの激しい雨になりましたにもかかわらず、貴重なお時間を割いて、第54回ふじみ衛生組合地元協議会にご出席いただきまして、管理者としてまず心から御礼を申し上げます。皆様、ありがとうございます。

3つの点についてお話をさせていただきます。

平成30年度、2018年度の冒頭、第54回目の地元協議会に当たりまして、会長を中心に地元協議会の皆様が熱心な協議を重ねていただいておりますことから、ふじみ衛生組合の業務につきましても何よりも環境についての安全確保、地元住民

の皆様はもちろんのこと、調布市・三鷹市、両市の市民の皆様の信頼と安心を得る運営ができていますこと、本当に心強く、ありがたく思っております。とりわけ、今、会長もご紹介されましたが、毎年秋に開催しておりますふじみまつりは毎年参加者が増えていますし、またその事業にご協力をいただいております団体も増えてきています。

先ほどご紹介ありましたように、ともすると、いわゆる迷惑施設と位置づけられてしまうこの施設が「三調めのエントツくん」という愛称に象徴されていますように、まさに市民の皆様に必要な不可欠な施設として受け入れていただいていますことは、地元協議会の皆様の誠心誠意のお取り組みがあればこそ思っています。

特に、本日もご報告がございますけれども、処理施設緊急時及び要望等対応マニュアルというものをつくっていただくことを通して、何よりも現実、実態を直視して、そのことから信頼と安全・安心は確保できる、この取り組みをしていただいていますこと、さらには新しくできる施設においても、実は水銀に関する自主規制値を持っているところが少ない中、皆様のご提案に基づいて水銀の自主規制値を持てていること、だからこそ停止せざるを得ない状況もあるわけですが、私としてはこれらの取り組みに象徴されるふじみ衛生組合地元協議会の皆様のお取り組みに、まず心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

2点目に、本日は、西岡真一郎小金井市長が環境部長さんと一緒に地元協議会にご出席をいただきました。これはかねてより、すなわち平成29年度から、家庭系ごみにつきまして小金井市さんのごみを広域支援の観点から受け入れさせていただいていることから、ぜひ直接市民の皆様の代表に御礼を申し上げたいと、このようなお気持ちを伝えていただいております。おかげさまで地元協議会の皆様が西岡市長さんの思いを受け止めていただくということで、本日この機会が整いましたこと、管理者として、また副管理者を務めていらっしゃる長友調布市長さんのお気持ちも本当に尊いことだと思っております。

後ほど報告の一部にあります。協定に基づきまして、武蔵野市さんとは一貫して、それぞれの炉が停止する際の支援を行っているわけですが、小金井市さんにおかれましては適切な施設がやがてできるということを確認して、受け入れを皆様にご理解いただいているわけですが、予定では平成29年度上限3,500トンで皆様にもご報告し、議会のご承認もいただいているところですが、小金井市さんのごみの減量のご努力は計り知れないものがあり、実績は3,070トンでございました。

三鷹市民の皆様も、調布市民の皆様も小金井市民の皆様のこの取り組みから学び、一層のごみの減量リサイクルに努めていきたいと、私も、そして長友調布市長も改めて確認をしているところでございます。小金井市長さん、部長さん、本当によろしくお越しいただきました。ありがとうございます。皆様の思いは地元協議会の皆様にしっかりと伝わったものと、同席をさせていただいて感じているところです。

3点目に申し上げます。平成30年度、2018年度のふじみ衛生組合の取り組みについてでございます。後ほど紹介があると思いますが、3月31日付をもって、長らく事務局長を務めていただきました前b副会長におかれましては、満期ということでご勇退され、改めて事務局長にb副会長さんが就任しております。副会長を務めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。また、調布市より、Lさんが事務局次長として着任をしております。ごみの専門家でもあります。くれぐれもご活躍、よろしくお願ひいたします。この事務局長、次長を中心に、ふじみ衛生組合も新しい体制で地元協議会の皆様と協働してよりよい施設づくりを進めていきたいと思っております。

特に不燃ごみ処理施設につきましても、未来に向けた課題を整理し、また皆様とご協議をさせていただきながら、次なる見取図をつくっていく段階でもございます。折々に適切に地元協議会の皆様にご報告をするとともに、ご意見を頂戴しながら持続可能なふじみ衛生組合の取り組みを進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

結びに当たりまして、第54回ふじみ衛生組合地元協議会、貴重なお時間をいただき、会議前に私もお挨拶をさせていただきます。光栄に存じております。ぜひ会長さんを中心に、皆様の前向きな両市の市民による協働の取り組みが一層前進しますよう心からお願ひ申し上げまして、管理者としてのご挨拶とさせていただきます。

大変お世話になります。今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

(拍手)

【事務局】

ありがとうございました。西岡市長と清原管理者は次の公務が控えておりますので、ここで退席させていただきます。

【事務局】 事前配付資料及び当日配付資料の確認

特にお声がないようですので、今後の議事進行は会長にお願いします。よろしくお願ひいたします。

【会 長】

それでは、地元協議会を始めたいと思っております。委員の確認をいたしますと、住民側委員が14名、組合委員が7名で、合計21名ということで今日の会議は成立しております。

今日はこの会議の後、定例ではございますが、三調会を予定しております。会議の進行にご協力をいただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

それでは、議事録要旨については事前に配付されております。

確認されて何かご意見があるところがございましたら、挙手をお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。特にないということでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

では、事務局に公開の手続きを進めていただきます。

次に「ふじみ衛生組合地元協議会委員の交代について」をお願いします。

【事務局】

委員の異動の関係でございます。まず、22ページをごらんいただきたいと思
います。三鷹市地域自治会の欄をご覧ください。

10番の山中親交会につきまして、前任者からN委員に交代されました。

【N委員】

今年度、山中親交会の会長になりましたNといいます。わかりませんので勉強
したいと思います。よろしくお願いします。

(拍手)

【事務局】

ありがとうございました。

続きまして、組合職員の委員の人事異動でございます。先ほど管理者から紹介
があり、重なる部分がありますが、前事務局長が3月31日付で退任し、後任の事
務局長に3月まで次長でありましたb副会長が就任いたしました。

組合職員の副会長を務めさせていただきます。

【b副会長】

b副会長でございます。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

(拍手)

【事務局】

以下、L次長、M課長補佐の異動、事務局担当職員の異動を紹介。

人事については、以上でございます。

【会 長】

ありがとうございました。

先にお話ししておかなきゃいけなかったんですけども、すみません、b副会
長、本日、所用のため欠席しておりまして、私が1人で議事進行させていただきます。
よろしくお願いします。

続きまして、ごみ処理実績のご案内をお願いします。

【C委員】

それでは、本日差し替えをさせていただいております資料の下に差替1と書いて
あります資料3でございますが、ごらんいただきたいと思えます。平成29年度
のクリーンプラザふじみにおけるごみ処理実績につきましてご報告いたします。

上のグラフをごらんください。平成29年4月から平成30年3月までの可燃ごみ
の搬入実績でございます。上のグラフの右下に記載のとおり、平成29年度の三鷹
市の可燃ごみの搬入量は2万8,243.12トンとなり、前年度比で167.40トン、約
0.6%の増、調布市の可燃ごみの搬入量は3万3,659.21トンとなり、前年度比で
460.54トン、約1.4%の増となりました。また、リサイクルセンターで発生した
可燃性残渣のクリーンプラザふじみへの搬入量は7,144.78トンとなり、前年度比

で337トン、約4.5%の減となりました。

次に、小金井市からの搬入量は3,070.15トンとなりました。

なお、小金井市からの搬入量は平成29年度4月分から開始され、年間3,500トンを上限として受け入れを行いました。

以上の結果、平成29年度における可燃ごみの搬入量は7万2,117.26トンとなり、前年度比で3,361.09トン、約4.9%の増となりましたが、これは先ほどご報告させていただきました小金井市からの搬入量の増が主な要因でございます。小金井市の搬入量を除きますと290.94トン、約0.4%の増となりましたので、小金井市分を除く可燃ごみの搬入量は前年度比でほぼ横ばいとなりました。

次に、下のグラフをごらんください。クリーンプラザふじみの搬出実績及び発電量・売電量についてご報告いたします。下のグラフの右下に記載のとおり、焼却灰の搬出量は5,975.70トンとなり、前年度比で2.18トンの増、飛灰の搬出量は1,947.46トンとなり、前年度比で218.67トンの増、鉄分の搬出量は193.68トンとなり、前年度比で10.82トンの増、焼却量は7万699.41トンとなり、前年度比で2,486.56トンの増となりました。また、発電量は3万7,229.16メガワットアワーとなり、前年度比で2,262.46メガワットアワーの増、売電量は2万7,430.49メガワットアワーとなり、前年度比で1,947.69メガワットアワーの増となりました。

なお、下のグラフにおきまして、焼却量並びに発電量及び売電量のグラフが下落しておりますところは、2炉あります焼却炉の法定点検によりまして、2炉ないしは1炉を停止したことによるものでございます。

続きまして、1枚ページをおめくりいただきまして、下に差替2と書いてあるページをごらんいただきたいと思っております。平成29年4月から平成30年3月までのリサイクルセンターにおける不燃ごみ等のごみ処理実績につきましてご報告いたします。

一番上のグラフが三鷹市の不燃ごみ等の搬入実績でございますが、そのグラフの右下に記載のとおり、不燃ごみ等の搬入量は合計で8,967.20トンとなり、前年度比で194.73トン、約2.1%の減となりました。

真ん中のグラフは調布市の不燃ごみ等の搬入実績でございますが、そのグラフの右下に記載のとおり、不燃ごみ等の搬入量は合計で8,979.06トンとなり、前年度比で13.87トン、約0.2%の減となりました。

一番下のグラフは両市の不燃ごみ等の搬入量の合計でございますが、そのグラフの右下に記載のとおり、不燃ごみ等の搬入量は合計で1万7,946.26トンとなり、前年度比で208.60トン、約1.1%の減となりました。

以上のとおり、平成29年度における両市の不燃ごみ等の搬入量の実績といたしましては、前年度比でそれぞれ微減となりました。

個々の搬入量の実績のうち、主なものとしたしましては三鷹市のプラスチックの搬入量が前年度比で263.59トン、約6.8%の減となりましたが、これは平成29年4月からの汚れたプラスチックを燃やせるごみで出す点の分別方法の変更が影響したものと考えております。

また、三鷹市の瓶・缶の搬入量が前年度比で125.08トン、約6.1%の増となり

ました。

ペットボトルにつきましては、三鷹市の搬入量が前年度比で37.70トン、約5.7%の増、調布市の搬入量は前年度比で30.29トン、約3.4%の増とそれぞれ微増となりました。

不燃ごみにつきましては、三鷹市の搬入量が前年度比で70.91トン、約4.3%の減、調布市の搬入量は70.45トン、約2.0%の減と両市とも微減となりました。

また、調布市の不燃粗大ごみの搬入量につきましては、前年度比で24.15トン、約7.2%の減となりました。

続きまして、1枚後の差替3と下に記載されたページをごらんいただきたいと思えます。平成29年4月から平成30年3月までのリサイクルセンターにおける有償・無償の資源物搬出並びに逆有償の資源物及び熱回収搬出につきましてご報告いたします。

上のグラフが有償・無償の資源物の搬出状況でございますが、上のグラフの右に記載のとおり、資源物の搬出量の合計では9,531.53トンとなり、前年度比で52.87トン、約0.6%の減となりました。

右から3つ目の容リ・プラスチックの搬出量が前年度比で158.57トン、約3.5%の微減となりましたが、これは先ほどご報告させていただきました三鷹市のプラスチックの搬入量の減が主な要因となっております。

また、左から6つ目のペットボトル・梱包有の平成29年度分の搬出量の実績がゼロとなっておりますが、これは平成29年4月よりペットボトルの搬出先を日本容器包装リサイクル協会のみに変更いたしましたことから、右から2つ目の容リ・ペットボトルのところに搬出量の実績が移動していることによるものです。従いまして、容リ・ペットボトルの搬出量は前年度比で増加しております。

一番右にあります小型家電の搬出でございますが、前年度比で99.32トン、約28.0%の増となりました。

なお、小型家電につきましては、「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」といたしまして、2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおける約5,000個のメダルを、全国から集めたりサイクル金属でつくろうとするプロジェクトが、平成29年4月1日にスタートいたしました。

次に、下のグラフをごらんください。逆有償の資源物及び熱回収搬出についてご報告いたします。下のグラフの右に記載のとおり、搬出量の合計は7,280.73トンとなり、前年度比で344.17トン、約4.5%の減となりました。個々の搬出量の実績のうち主なものといたしましては、蛍光管の搬出量が前年度比で3.38トンの減、消火器等の処理困難物の搬出量が前年度比で2.58トンの減となりました。リサイクルセンターで発生した可燃性残渣の搬出量は、前年度比で337トン、約4.5%の減となりました。

以上の結果、平成29年4月から平成30年3月までの資源物等の総搬出量は、右下に記載のありますとおり、1万6,812.26トンとなり、前年度比で397.04トン、約2.3%の減となりました。

平成29年4月から平成30年3月までのごみ処理実績の報告は以上でございます

す。

【会 長】

ありがとうございます。ざっと説明されましたけれども、皆さん何かご質問ございませんか。

差し替えともともと配付された資料との、どこの部分が間違えたから差し替えたというのは、差替1については焼却量のところの数値が違っているというのはわかったんですけども、その他ページについてはわからないんですけど。

【C委員】

ただ今、会長にお話しいただきましたように、差替1の平成29年度の焼却量のところが差し替え後は7万699.41トンとなっております。こちらのほうが正しい数値でございますので、よろしくお願いいたします。

【会 長】

差替1のところは焼却量が違っていたけれども、ほかは間違っていないということですね。

【C委員】

はい、そのとおりでございます。

【会 長】

数字がだんだん大きくなってくると、聞くほうは耳が障害となってくるので、できたらここが違っていたので、こういうふうにしましたと次のときに言っていただくと助かります。

質問はないということで、次に進めさせていただきます。

それでは、平成29年度環境測定結果についてお願いいたします。

【E委員】

それでは、今の差し替えの資料の4ページをお開けいただけますでしょうか。こちらでも数字が若干漏れておりまして、それを説明しながらご説明を差し上げます。差し替えの4ページ、5ページでございますけれども、前回は2月13日の開催でございましたので、その報告以降のものとさせていただきます。

まず、炉の運転状況でございますけれども、2月以降の数字でございます。まず、一番上の1号炉につきましては、2月28日から3月1日まで、水銀の自主規制値が増えましたので、その間、停止したところでございます。これにつきましては後ほど説明させていただきます。2号炉につきましては、2月22日から3月25日までの間がブランクになっておりますけれども、こちらは定期点検で炉を休止したものでございます。

続きまして、1月、2月の排ガス測定でございます。こちらにつきましては2月の実績が入りましたので、そちらを新たに加えさせていただいたものでございます。

まず、一番上から、ばいじんにつきましては0.001g/m³N未満でございました。いおう酸化物につきましては2.4ppmが最高でございました。窒素酸化物につきましては40ppmが最高値でございました。塩化水素につきましては1.6ppmが最高値でございました。水銀につきましては0.004mg/m³N未満、一酸化炭素につきまし

ては6 ppmが最高値でございます。続きまして、鉛、カドミウム、亜鉛につきましては0.0044mg/m³N未満でございます。

次のページをお開きいただきまして6ページになりますが、こちらは一目で見られるように表になってございますので、これは後ほどご確認いただければと思っております。

お戻りいただきまして、4ページ、5ページでございます。騒音・振動・臭気・排水の測定のところでございますけれども、済みません、1月の騒音につきましては上から3番目と4番目が数字が入れ替わっておりまして、以前、午後8時から午後11時までが49南となっていたところが54南となりました。それから、午後11時から午前6時につきましては、54南となっておりましたのが49南ということで、3番目、4番目を入れ替えて訂正したものでございます。失礼いたしました。それから、臭気指数と排水につきまして、3月の実績を入れたところでございます。

ご説明いたします。1月の騒音につきましては、上から4番目までなんです、54dB南から49dB南ということで、それぞれの時間帯に応じて規制値も違っておりますが、それぞれ基準値をクリアしている状況でございました。振動につきましてもそれぞれの時間帯で規制値が異なっておりますけれども、午前8時から午後8時までが37南というところ、午後8時から午前8時が36dB南という実績でございました。臭気指数につきましては、11月以降の数値になりますけれども、10未満というところでございます。排水につきましても、2月以降でございますが、排水基準以下という結果が出たものでございます。

もう一段下にいきますけれども、こちらは1月になります。別紙をご覧ください。こちらは三鷹の南浦小学校と調布のしいの木公園で、1月21日から27日まで測った結果でございます。

項目が大変多いために一つ一つの項目についてはご説明いたしません、一番右の欄に冬というのがございまして、そちらの黄色いところの②稼働後というのが今回の測定の数値でございます。稼働前と比べて若干数字がよくなっているというふうに見えはするんですけれども、測ったときの状況等にもよりますので、一概には言えないものでございます。

その下の表になりますけれども、こちらにつきましては冬の②の29年度、青い部分が該当するところでございますけれども、前年度と比較というところでございます、こちらについても数値がよくなったり悪くなったり変動はございますが、特に全体として大きな変動があるものではございません。

お手数ですが、もう一度差し替えの資料にお戻りいただけますでしょうか。差し替え資料の4ページ、5ページの一番下の段でございます。

こちらにつきましては放射能に関する測定でございまして、2月以降の数値でございます。まず、焼却灰につきましては不検出でございました。飛灰につきましては45Bq/kgが最高でございます。排ガスと排水については不検出でございました。

その下ですが、空間放射線量につきましては地上1メートルと5センチで測っ

ておりまして、こちらも2月以降の数値になりますが、いずれも最高値が0.08 μ Sv/ μ でございまして、全体を見まして前年度と比べたところ、大きな変動はございませんで、個々に見ると若干の数値の変動もございしますが、昨年度よりも大きいものではございませんでしたし、また自主規制値や基準値を超えるものではございません。

私からは以上でございします。

【会 長】

ありがとうございます。今報告のあった内容でご質問ある方、お願いいたします。

【会 長】

何か質問ございませんでしょうか。ないようでしたら、次にいきます。

5番目の1号炉の稼働停止について説明をお願いします。

【C委員】

それでは、事前にお配りさせていただいております30ページの資料5をお願いいたします。クリーンプラザふじみ1号炉の稼働停止につきましてご報告させていただきます。

1の経過でございしますが、平成30年2月27日午前10時12分ごろに1号炉の排ガス中の水銀濃度が急激に上昇し、自主規制値であります1ノルマル立米当たり0.05ミリグラムを超え、2時間経過後も自主規制値を下回りませんでしたので、ふじみ衛生組合の「処理施設緊急時及び要望等対応マニュアル」の中の「排ガス中水銀濃度異常上昇時の対応操作基本手順」に基づきまして、同日午後0時30分に1号炉を稼働停止し、埋火操作をいたしました。

なお、当地元協議会でも以前ご説明させていただいておりますが、ふじみ衛生組合では、平成29年度におきまして水銀除去システムの実証実験を行ってまいりました。その内容といたしましては、バグフィルターの手前に新たに水銀分析計を設置して水銀濃度を測定することで、水銀濃度上昇時に活性炭の吹き込みをより迅速に行い水銀を効果的に除去し、煙突出口での水銀濃度を低減するものであります。

その結果、従来方法以上の水銀濃度低減効果が確認できましたが、その特徴といたしましては、従来の煙突での水銀測定よりもバグフィルター前で水銀測定を行うことにより、三、四分早く水銀の測定を行い、活性炭を吹き込むことができることとあります。今回は水銀除去システムの能力以上の量の水銀が混入されたものでございします。具体的には、バグフィルター前の水銀濃度と排ガス量から混入された水銀量は300グラム以上と推定しております。

2の水銀濃度が上昇した原因は、特定できておりません。

3のこの間の対応といたしましては、水銀が付着したと考えられるバグフィルターの清掃を行い、新たに消石灰を吹き込みました。また、地元協議会正副会長並びに安全衛生専門委員会委員長に報告をさせていただきました。

次に、4の1号炉の再稼働についてでございしますが、3月1日に安全衛生専門委員会委員長から慎重な立ち上げに係る見解をいただきましたので、その旨を地

元協議会正副会長にご報告し、再稼働についてご理解をいただきましたことから、同日3月1日午後5時にバーナーを着火し、翌3月2日午後0時10分からごみの投入を行い、再稼働いたしました。

次に、5の課題でございますが、バグフィルター前の水銀濃度が下がっているのに、煙突の水銀濃度が下がらないのは、バグフィルターで除去し切れなかった水銀が煙突の水銀分析計に付着し、測定値が上振れしてしまう「メモリー効果」の可能性があると指摘を安全衛生専門委員会委員長からいただいております。

最後に、6の再発防止に向けてでございますが、三鷹市及び調布市の市民の皆様へ水銀を含むごみを廃棄しないようご協力をお願いするとともに、可燃ごみの搬入物検査を強化いたします。

具体的には、第1に、三鷹市及び調布市のごみ対策課に協力をいただきまして広報をお願いしますと同時に、ふじみ衛生組合におきましても広報を継続いたします。第2に、可燃ごみの搬入物検査を、平成29年度におきましては年度中に30回実施しましたが、平成30年度におきましても30回実施しますと同時に、検査の充実を図ります。第3に、安全衛生専門委員会委員長からご指摘いただきました課題の確認及び水銀制御システムの機能向上に向けまして、JFEエンジニアリング株式会社の協力をいただきまして検討を行ってまいります。

クリーンプラザふじみ1号炉の稼働停止につきましては以上でございます。

【会 長】

ありがとうございます。ご質問のある方、ありましたらお願いします。

【G委員】

5の課題の件なんですけど、実はたまたま4月の末ごろに、どっちだったか忘れたんですけど、0.029、0.03ぐらいにいったんじゃないかな。翌日見たら、すぐまたゼロに戻っていたんですけども、そのときに安全衛生専門委員会委員長の言われるメモリー効果というのはありましたでしょうか。その辺の説明をしていただけならと思います。

【b副会長】

0.029というようなは自主規制値以内におさまっている微量の水銀でしたら、特にメモリー効果はないと判断しております。データを見ていまして、入り口濃度が下がると、煙突の濃度も下がるという相関関係が確認できております。

【G委員】

搬入防止対策というのは、ここは始まったときからずっと永久の課題のごとくやっているんですけども、先ほどお聞きした300グラムの水銀というのはかなりの量だと思われるんです。それだけの量のものが、そこら辺の家庭とか小さなところから出てくるとは思われないので、犯人追求というわけにはいかないと思うんですけども、ある程度この辺はやばいんじゃないかとか、犯人探しじゃないんですけども、そこをやらないとこれは永久に出てまた止まって、出て止まると。

ですから、警察ではないので、犯人探しとか罰則って無理だと思うんですけども、そこら辺の根本をもうちょっと考えていかないと。出たからどうするとい

うことではなくて、出ないようにするのが一番いいと思っています。

あと、バグフィルターで除去し切れなかった水銀が煙突に付着するというのを何遍もお聞きするんですけれども、疑うわけじゃないんですけれども、煙突から外には出ないわけですか、水銀というのは。

【b 副会長】

まず、1点目の水銀量のことをございますけれども、今、委員さんがおっしゃったとおり、今回初めて300グラム以上の水銀が入っていたのではないかというふうに推定ができております。したがって、乾電池ですとか、昔ながらの水銀の体温計といったレベルではないということは私どもも認識いたしました。今後、搬入物の検査については、もう少し対象を広げてやっていかなければいけないと間挙げており、30年度以降の搬入物検査につきまして工夫をしていきたいと考えております。

煙突から水銀が出たのかとのご質問ですが、煙突出口の水銀濃度は上がっていますから、全く出てないということは申し上げません。ただ、地元協議会の皆様とのお約束で、こういったケースについてはすぐに焼却炉を止めるということを実施していますので、焼却炉を止めた以降についてはほとんど出ていないと認識しているところでございます。

【会 長】

よろしいですか。

わかりやすく質問する意味であえて私のほうから申し上げるんですけれども、差替6の水銀測定結果のところは吹き出しができて、これ説明されていますよね。以前のものについては吹き出しはなかったもので、こういうふうに書いていただいたほうがよりいいんじゃないかと思うんですが、0.05、横に赤い線が引っ張ってあるところが協議会で決めた自主規制値になっています。

一時的にせよ、炉が止まったのは規制値を超えた。だけど、ここの測定値、ぽちぽちと下のほうにカラーでグラフが描かれているのは、年6回測ったデータをここに書いてあるので、連続でずっと監視しているときに突発的に、パルス的にぱんと出たときのことは、この吹き出しのようなことを書かないと書類上は出てこないということになってしまう。ですから、オーバーしたのに何で0.05の自主規制値のところは飛び出てないんだというふうに、前の資料だとそういうふうに読めてしまうわけで、今回のこの資料であったんだということが読み取れるだろうと思います。

ただし、大きいこちらの表、差替4と5のところには吹き出しがあるものの、具体的な数値についてはこの表からは読み取れないということなので、この表の理解の仕方をよくよく見ておかないと、片方でオーバーしていると言いながら、この表の中には、あれ、どこだろうという単純な疑問が湧いてくるかと思っておりますので、私が説明する内容じゃないんですけども、私が一番そういうふうに思うので、私が解説するわけじゃないんですが、質問というか、皆さんにちょっとお話をいたしました。間違いありませんよね、それは。

ほかの方ご質問なければ、次の項目に進みます。処理施設緊急時及び要望等対

応マニュアルについてお願いします。

【E委員】

それでは、先だってお配りした資料の31ページをお開けください。「処理施設緊急時及び要望等対応マニュアル」というものがこちらにございまして、インターネットでも公表してございます。こちらに基づいて、29年度の項目の実績を公表したものでございます。

こちらのマニユアは平成27年4月1日に運用を開始しておりまして、内容的には施設稼働における緊急時の対応手順、当組合に寄せられた要望等の処理手続を定めているものでございます。それにつきまして、そういった緊急時の状況がどうであったか、要望はあったかということで、それを公表するということになってございます。

平成29年度につきましては、要望等についてはなかったんですけども、今ご説明差し上げました水銀の件が1件ありましたので、水銀の上昇についてホームページで公表したところでございます。ふじみ衛生組合のホームページに29年度の実績がほぼこのとおりに載っております。

私からは以上でございます。

【会 長】

ただいまの項目でご質問ございませんか。ないということで、次のテーマに移ります。

それでは、報告事項の7番目の項目であります安全衛生専門委員会の報告をお願いします。

【事務局】

第18回安全衛生専門委員会でございます。資料については、本日お出ししたものとほぼ同様でして、報告事項の内容も同じでございます。

1点違うのは、安全衛生専門委員会委員長の論文が3月に出しておりますので、その解説を丁寧にさせていただいたところでございます。その論文につきましては事務局である程度用意してございますので、もしごらんになりたい方は後でお声かけいただければ、後日ポストイングさせていただきたいと思っております。

以上です。

【会 長】

ありがとうございます。必要な方はお声かけをお願いいたします。ご質問なければ。いいですか。じゃ、次いきます。

それでは、平成30年度環境測定スケジュールについてご説明をお願いします。

【E委員】

それでは、平成30年度環境測定スケジュールでございますけれども、先だってお配りいたしました資料の32ページをお開けください。こちらにつきましては平成29年度とほぼ同様のスケジュール、炉の運転状況になっておりまして、それに伴いまして、測定につきましても昨年度と同様の内容を予定してございます。同様に、測定結果については皆様にお知らせしながら進めていくものでございます。

以上でございます。

【会 長】

ありがとうございます。今年度のスケジュールについて何かご質問ある方ございませんか。

なければ、次にごみ処理計画についてお願いします。

【E委員】

それでは、ごみ処理計画についてですが、先だってお配りした資料の35ページをお開けください。35ページは三鷹市の一般廃棄物処理計画になりますので、後ほどごらんいただければと思います。それから、37ページをお開けいただきますと、こちらは調布市の一般廃棄物処理計画の概要でございますので、詳細につきましては、こちらでも後ほどごらんいただければと思います。続きまして、40ページに飛ばさせていただきますが、こちらにつきましてはふじみ衛生組合の一般廃棄物処理計画の概要で、三鷹市と調布市の処理計画をベースにふじみ衛生組合の処理計画を作ったところでございます。具体的な数値につきましては42ページをお開けいただけますでしょうか。

表の上から、三鷹市のごみ処理計画の内容でございます。まず三鷹市の収集量でございますけれども、平成30年度につきましては合計で4万7,430トンでございます。三鷹市では全般的に収集量が減となるような計画となっております。

その下の段でございますけれども、こちらは調布市の計画でございます。平成30年度は合計で6万142トン収集する予定でございます。実績に応じて、項目の若干の増減があるという状況でございます。

そのほかに、記載はございませんけれども、先ほど小金井市長がお伝えしたように、平成29年度から31年度までの3年度間、小金井市の可燃ごみを受け入れるということになっておりまして、こちらが毎年度3,500トン搬入するという計画になってございます。

その下がふじみ衛生組合の処理量でございます。クリーンプラザふじみでは7万2,477トン焼却する計画になっておりまして、昨年度より218トンほど焼却量が減るという計画になってございます。

それからリサイクルセンター、こちらは不燃物の処理でございますけれども、合計1万7,781トン処理するような計画となっております。昨年度より380トンほど減るという計画になってございます。

こちらが平成30年度のごみ処理計画でございます。

私からは以上でございます。

【会 長】

今の項目のご質問はございますか。

特にないようでしたら、次の環境影響評価事後調査の概要について、お話をお願いします。

【E委員】

それでは、資料の43ページをお開けいただけますでしょうか。こちらは本年度と来年度にかけて、東京都の環境影響評価条例に基づき、環境影響評価を実施するものでございます。

ふじみ衛生組合は、既に施設の建設に当たり、平成20年度に1回環境影響評価を実施いたしました。それから、環境影響評価の事後評価といたしまして、平成25年度に調査を実施いたしました。今回の事後評価につきましては、可燃物の処理量が最も多い年度に今年度は該当するのではないかとということで調査を行うものでございまして、今年度調査を実施いたしまして、平成31年11月に東京都に報告書を提出するものでございます。

調査の内容につきましては、前回の事後調査と同様に、大気質、悪臭、騒音・振動や地上気象を測るということで、43ページにつきましてはこういった項目を事後評価として測るというものでございまして、次の44ページ、45ページをお開けいただきますとスケジュールがありまして、平成30年度いっぱいかけて事後調査を行い、報告書の提出を平成31年11月に行うということがおわかりいただけると思います。

続きまして、46ページでございますけれども、こちらは一つの例といたしまして、施設の稼働に伴う大気質の調査の場所、8地点を示してございまして、これらの地点で4季節それぞれ1週間調査するという内容でございます。

私からは以上でございます。

【会 長】

ありがとうございます。ただいまの項目のご質問ございましたら、お願いします。

特にないようでしたら、次、ごみ処理相互支援についてお願いします。

【事務局】

ごみ処理の相互支援でございます。これはふじみ衛生組合と武蔵野市がそれぞれの施設の定期点検を行います。その期間中、ごみの受け入れをお互いに支援し合うという協定を結んでございまして、それに基づくものでございます。それぞれ2回に分けて、おおむね600トン相互に支援するというもので、ただ、今年度は2月に武蔵野市への緊急対応として、38トンを受入れることになっておりますので、この分の38トンを第1回、30年6月1日から6月15日の間に300トンに加えて搬出する予定でございます。

以上でございます。

【会 長】

ご質問ありますか。

ないようでしたら、次の地元協議会・専門委員会のスケジュールについて、事務局、お願いします。

【事務局】

この表につきましては、前回、第53回の際に出したものと同一のものでございますが、専門委員会で4月と10月の2回確認できましたので、改めて掲載したものでございます。

なお、地元協議会のほうは奇数月毎回という予定にはなっておりますが、これはリサイクルセンターの打ち合わせの進行状況に応じてということですので、必ずこれだけ開催するというものではなく、最大これだけ開催できるように準備し

ているというものでございます。

以上でございます。

【会 長】

ありがとうございます。今のスケジュールは特に問題ないですね。

それでは、次に施設見学会になりますか。

【事務局】

今日お配りした資料12、1枚のものでございます。前回の第53回地元協議会のときに提案させていただきましたふじみ野市・三芳町環境センター、資料がほぼ前回と同じものですが、現在の予定は30年6月18日月曜日でございます。10時半から見学を受け入れてもらえますので、バスで概ね1時間半ぐらいかかるので、9時ごろふじみ衛生組合を出れば大丈夫かなと思っております。

バスの業者との打ち合わせはこれからになりますので、詳細な行程等については後日、それぞれお宅にお届けしまして、参加につきましても返信用封筒を用意しますので、それでお返しいただければと思っております。

なお、昨年提案がございました、バスの座席に余裕があれば参加者の範囲を拡大できないかというお話でございますが、これについては各自治会の中でご希望者がいれば、各自治会お1人プラス程度の追加は可能ですので、それについても申込票という形で、後日の参加確認票の中に用意させていただきたいと思っております。

施設見学については以上でございます。

【会 長】

ありがとうございます。

あとは何かご質問ございますか。振り返ってのご質問でも結構ですけれども、あればお聞きします。ないようですから、次へいきましょう。

じゃ、その他ということでお願ひします。

【L委員】

皆様のご協力を得まして、毎年開催しておりますふじみまつりでございます。本年度につきましても、11月中旬もしくは下旬に開催したいと思っております。ただ、日程の確定につきましては、ふじみまつり実行委員会で実行委員の皆様の意見をいただき、確定したいと思っておりますので、確定後、皆様にお伝えしていきたいと思っております。皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

【会 長】

じゃ、それは後日ということ。

それでは、次の日程を決めればもうおしまい。日程の案でよろしいと思うんですけども、先ほどの48ページのスケジュール表をごらんいただくと、次回、7月ということですが、事務局の案としては従来どおり7月の下旬という形で、7月23日の月曜日または24日の火曜日のいずれかでお願ひできればと思いますが、いかがでしょうか。

それでは、ご都合の悪い方をお聞きします。7月23日月曜日です、ご都合の悪い方、手を挙げていただけますか。それでは、どなたもいないから、決をとらないで次は23日にしましょう。

【事務局】

ありがとうございます。

【会 長】

じゃ、7月23日ということをお願いします。

ほかになれば、地元協議会はこれで閉会ということになりますが、何かご質問ございませんでしょうか。ないようでしたら、閉会ということによろしいですか。

この後、隣の部屋で三調会の準備ができておりますので、参加される方はそちらのほうに移動をお願いします。

お疲れさまでした。

— 了 —